

平成29年度事業計画書

〔平成29年4月1日から
平成30年3月31日まで〕

当財団は、地下鉄博物館の運営を通じて地下鉄に関する知識の普及を図るほか、交通文化事業及び交通マナー事業を推進し、交通文化の発展に寄与するよう努めております。

本年度も、以下のとおり各公益事業活動に積極的に取り組んでまいります。

1 博物館事業

地下鉄に関する資料等の収集、展示、解説及び案内等を通じて、お客様、特に小・中学生など若い世代の方々に対し、地下鉄に関する知識の普及と理解を深めていただくため、以下の事業を行います。

(1) 博物館の企画行事

本年度における特別展、イベント等を以下のとおり計画しております。

ア 特別展の開催

(ア) 「地下鉄の安全をまもる人と設備の紹介展」(仮称) 6月中旬～7月下旬

地下鉄を利用するお客様にとって大切なことは、安全に・正確(確実)に・迅速に鉄道が利用できることです。日々、地下鉄をご利用のお客様には目にすることができない裏方の仕事があり、安全運行を支える車両や線路設備、信号設備、電力設備などについて、計画的に点検・保守を行う多くの方がいます。また、火災対策、浸水対策、地震対策など天災地変に対応した設備面の充実も行われています。

この特別展では、定時運行を目指して施設・設備の維持管理を行う人々と各種設備、特に災害に備える対策などについて写真、パネル等で紹介いたします。

(イ) 「地下鉄開通90周年展～東京の地下に夢を求めて 地下鉄の誕生と発展の足跡～」(仮称) 12月初旬～翌年1月下旬

この特別展では、本年12月に地下鉄が開通してから90周年を迎えることから、東京の地下に夢を求め、地下鉄事業を成し遂げた人物にスポットをあて、開通までの苦難と情熱を、経緯とともに、写真、パネル等で紹介いたします。また、常設展示している日本初の地下鉄車両1001号車についても紹介し、開通から現在までの90年間の歴史を、世相とともに振り返ります。

(ウ)「鉄道模型大集合展～地下鉄車両を中心として～」(仮称) 3月初旬～4月中旬

東京の地下鉄は、東京地下鉄株式会社と都営地下鉄が運営し、毎日多くの電車を走らせ、一日約970万人のお客様をお運びしています。通勤通学などの移動手段として利用する人が多い反面、乗り物としてだけでなく、電車を趣味にしている鉄道ファンも多くいます。一般的には、車両の形式や性能に詳しい人、乗車券などを集める人、電車の走行写真を撮る人、電車に乗ることが好きな人、鉄道模型を造り走らせる人など様々な鉄道ファンがいます。

この特別展では、地下鉄博物館が収蔵する鉄道模型をはじめ、関係者から借用した模型電車を自由に走らせながら、各車両の形式や車両構造、歴史などをパネルで解説し、鉄道ファンだけでなく大勢の方に楽しんでいただけるよう、紹介いたします。

イ イベントの実施

入館されたお客様に楽しんでいただけるよう、各期間において以下のイベントを行います。また、オリジナルキャラクター「ぎんちゃん・まるちゃん」との「ふれあい会」についても適時行います。

(ア) 春休み、ゴールデン・ウィーク行事(各種ゲームなど)

(イ) 夏休み行事(お盆休みを中心に各種ゲームなど)

(ウ) 鉄道の日行事(子供鉄道セミナーなど)

(エ) 冬休み行事(各種ゲームなど)

ウ 教育実習活動

博物館実習(学芸員資格取得のための実習)、チャレンジ・ザ・ドリーム(近郊の中学校からの要請による職場体験学習)等の教育実習活動を受け入れます。

(2) 地下鉄関連資料の収集、保管及び貸出し

地下鉄に関する各種資料、写真等を継続的に収集、整理、保存するとともに、資料のデータベース化を進めていきます。

さらに、データベース化した貴重な資料を基にホームページに公開している「メトロアーカイブアルバム」の拡充に向け、内容の更新等に努めていきます。また、自治体や学校等から要請があった場合には、所蔵資料などの貸出しもいたします。

(3) 展示物の更新及び施設の改良等

展示物・施設の経年劣化に対応するため、本年度実施する主な工事は、以下のとおりです。

- ア 空調設備の改良（A C—1 装置は平成14年に設置以降、経年劣化のため更新）
- イ 指令体験卓等の改良（地下鉄をまもるコーナーの指令卓ほか災害対策解説の更新）
- ウ 旅客サービスコーナーの改良（サービス内容の充実と展示方法の改良）
- エ その他（展示物の多言語化対応、天井照明設備更新、収蔵品管理ソフトの導入等）

(4) 新規商品の開発と販売

入館されたお客様から要望が多い博物館オリジナル商品の開発を積極的に行い、お客様に喜んでいただき来館記念となるよう努めます。

本年度も博物館の管理・運営については、なお一層多くのお客様に来館していただけるよう、ポスターやホームページ、携帯サイトなどの情報媒体を通じて特別展や各種イベント等を紹介するとともに、テレビ局、新聞社・雑誌社等メディアの取材、インタビューに積極的に対応し、博物館のPR活動を推進します。

2 交通文化事業

音楽会、文化展、歴史教室等の催しを通じて、多くの方々に、文化的で豊かな日々を提供するため、以下の事業を実施いたします。

(1) メトロコンサートの開催

青少年への音楽文化の普及を図る文化活動の一環として、「メトロコンサート」を地下鉄博物館ホールにおいて、年4回開催いたします。

また、駅構内においても、年4回開催いたします。

(2) メトロポリス・クラシックスコンサートの開催

気軽に楽しくクラシック音楽に触れていただくため、「メトロポリス・クラシックスコンサート」を年1回開催いたします。

(3) 音楽の贈りものコンサート（出張音楽会）の開催

福祉活動及び音楽文化の振興に寄与するため、「音楽の贈りものコンサート（出張音楽会）」を都内及び近郊の福祉施設、病院等において、年8回開催いたします。

(4) メトロ文化展の開催

絵画、写真及び文学に係る作品を募集して、その中から優秀作品等を選び、以下のとおり「メトロ文化展」を開催いたします。

ア 児童絵画の部（メトロ児童絵画展）

地下鉄に興味を持っていただけるよう、小学生を対象に安全やマナーに関する絵画作品を年1回募集し、特選、入選、佳作、奨励の各賞を計600点選考のうえ、「メトロ文化展 児童絵画の部」として駅構内及び地下鉄博物館に展示いたします。

イ 写真の部（メトロ写真教室・写真展）

撮影テクニックの習得をはじめ、都内の名所旧跡、下町風情の残る地域などで撮影する喜びを体験していただくため、参加者を募集し、専門家による写真教室及び撮影会を年2回開催し、その撮影作品の中から選考のうえ「メトロ文化展 写真の部」として駅構内及び地下鉄博物館に展示いたします。

ウ 文学の部（メトロ文学館）

電車内で、文化的な雰囲気と潤いを感じていただくため、詩の募集を年2回行い、優秀作品を選び、車内ポスターに掲出するとともに、入選作品を「メトロ文化展 文学の部」として駅構内及び地下鉄博物館に展示いたします。

(5) 沿線地域文化の紹介

地下鉄沿線の地域文化の振興や伝承支援に寄与するため、沿線地域における伝統工芸・芸能、文化遺産、祭り、各種文化行事等を財団のホームページと「Echika 池袋ギャラリー」において紹介いたします。

(6) メトロ歴史教室・歴史散歩の開催

都内に残る名所旧跡など歴史的文物を知っていただくため、参加者を募集し、専門家による解説と現地を探訪する歴史教室・歴史散歩を年2回開催いたします。

(7) Echika 池袋ギャラリーの運営

芸術文化の振興に寄与し、また、駅におけるゆとりと潤いのある文化的空間の創造、さらには文化芸術の薫る街を目指す地元地域の発展に資するために設置された「Echika 池袋ギャラリー」の管理運営を行います。展示につきましては、地元豊島区と当財団が行います。

(8) パブリックアートの設置・管理

芸術文化の振興に寄与し、人々の心に潤いを与えるため、駅構内に設置した「パブリックアート」の維持管理を行います。

現在「パブリックアート」は、副都心線西早稲田駅に2作品、北参道駅に1作品及び有楽町線豊洲駅に1作品の合計3駅4作品を設置しておりますが、新たに上野駅と末広町駅に設置の予定です。

また、平成27年12月に銀座駅コンコースに設置した「Glass Box Metro Ginza」(メトロ銀座ギャラリー)の展示管理を行います。

3 交通マナー事業

交通マナーの高揚を図り、あわせて地下鉄に対する親しみを深めていただくため、以下の事業を実施いたします。

(1) マナーポスターの制作・掲出

交通マナーの高揚を図るため、交通道德宣伝用マナーポスターを制作し、毎月、駅構内等に掲出いたします。

(2) 「地下鉄のはなし」の制作・配布

小学生を対象として、交通マナー、地下鉄の歴史、役割、安全への取組み等を解説した小冊子「地下鉄のはなし」を15万部制作し、地下鉄博物館及び主要駅において配布いたします。

(3) 鉄道教室の開催

交通マナーや地下鉄の知識を深めていただくため、小学生とその保護者を対象に参加者を募集し、施設見学及びセミナー等を行う鉄道教室を年1回開催いたします。

(4) 啓蒙用グッズ類の配布

交通道德宣伝用啓蒙グッズを制作し、各種イベント参加者等に配布いたします。

以 上